

秘密保護法を廃止に！



12月6日夜、強行採決抗議集会〔津市〕

稀代の悪法「特定秘密保護法」が、国会で強行可決されてしまいました。「何が秘密？それは秘密です」のキャッチフレーズが、この悪法の本質をよく表わしています。この国の主権者である国民が、政府のしていることを知る、監視する、批判することが出来なくなり、権力者が勝手に軍事、外交その他の重要な問題を定めることが出来るようになる。

何を秘密に指定するのかも、政府が決める、その決めたことも秘密にされ、国民はまったくカヤの外。その秘密を知ろうとすること、知った秘密を他人に伝えること、マスコミが報道すること、など一切が罪になる。逮捕されたり、裁判にかけられたりしても、その理由も明らかにされない。これでは、国民の生活は真っ暗闇になってしまいます。

思い出そう、68年前までの日本は「秘密国家」だった

今年「少年H」という映画が上映されました。妹尾河童さんが少年時代の神戸での実体験を書いたベストセラーを、映画化したものです。誠実なクリスチャンで洋服屋の父親が、西洋人に洋服を仕立てたことを、スパイの疑いで特高警察に捕まり拷問されるシーンがあります。当時の悪法「治安維持法」で、たくさんの普通の市民が捕まり、ひどい目にあいました。人々は自由を奪われ、日本は戦争に突入、悲惨な結末となりました。

ほんの68年前までの日本は、今の北朝鮮のような不自由な国だったので、秘密保護法を許してはなりません。廃止させましょう。



12月14日、宣伝・署名活動（ハンター前）

国道306旧道を生活優先の道路に



朝7時台の306旧道（伊船町）

12月9日の本会議一般質問で、国道306（巡見街道）伊船バイパスが出来たのに、伊船町・長沢町の集落内の旧道に、依然として多くの通過車両が入って危ない、という問題を質問しました。

私は旧道がバイパス開通後も、2車線・制限速度40キロのままという状態を変えること、具体的には通過車両がバイパスに回るように、センターラインを消して両側に歩道ゾーンを広くとる制限速度を30キロに下げる、と提案しました。

土木部長は、「地元自治会など関係者の合意があれば」このような変更は可能。また、まだ旧道の管理者は県なので、県と協議すると答弁しました。私は、地元伊船町・長沢町の自治会は、この提案に賛成しているので、一日も早く改善するように求めました。

先生の働き方はどうなっている？

全日本教職員組合・全教が2012年に調査した、教職員の「勤務実態調査」によると、教職員の1ヶ月平均時間外労働時間は72時間34分、持ち帰り仕事時間は土日も入れて22時間24分、合わせると94時間59分という、ビックリするような長時間過密労働になっています。（しかもこれは平均値！）

それでは、鈴鹿市の学校の先生たちはどうなっているのか、市議会一般質問の中で聞きました。教育委員会の答弁によると、毎月「時間外労働集計シート」を各学校から提出していますが、昨年の集計では以下のとおりです。

小学校 年間平均20.13時間 最多月（4月）27.30時間

中学校 年間平均35.15時間 最多月（10月）49.30時間

この数字は、全教の調査結果の半分以下で、そんなに少ないのか？とさらに聞きました。すると、この数字は先生方が毎月「自己申告」で出してくるもので、実態を正しく表わしたものではない、また、持ち帰り仕事時間は入っていない、ということが分かりました。現場の先生に聞いてみると「ひと月分まとめて書く」「思い出して適当に書いている」「正確に書いたって時間外手当も出ない」などの声があがりました。ある先生は「組合調査の数字の方が実態に近いですな」と語りました。「過労死ライン」80時間を超える働き方になっていないか、心配です。正確な調査と対策が求められます。

間に合ってる？学校、保育所の修繕

12月補正予算に、保育所の修繕費500万円、学校の修繕費710万円が計上されています。委員会で保育所修繕の内容の説明を聞くと、牧田保育所の雨漏り、各園のすべり台などの遊具の修理なのですが、市立10ヶ園のうち9園にわたっています。つまり新築の河曲保育所以外はみんな修理が必要とのこと、また遊具8ヶ所がいま使用禁止になっているとのことでした。

12月補正に出るのは本来、来年度の予算まで待てない「緊急」案件なのですが、今回の補正は、これまでガマンを重ねてきたものが噴き出したような感じです。急に9ヶ所が一度に壊れた、とは思えないからです。毎年の当初予算で年次的に必要な修理を上げていくべきなのに、後回しにされてきた、それをまとめて出したのでは、と感じます。

計画的なメンテナンスを予算化すべきだ

学校の修繕費も、大木中の校舎の雨漏りが授業の支障になるからという説明でした。また、森川議員が一般質問で、神戸小のトイレや体育館のイスなどがボロボロのままだと訴えましたが、改築や大規模修繕の予定がない学校では、配当予算では修理のメドが立っていない実態が明らかにされました。

問題なのは、建てて何年経ったら点検するとか、消耗する部分は取り替えるとかの計画がないこと、壊れたら直すという場当たり的な対応になっていること、です。早く修繕できずに、かえって多額の予算を食うような、後追いの対応は見直すべきです。

楽しんだバス旅行 信楽とモクモク

12月1日、恒例の鈴鹿市共産党後援会のバス旅行に出かけました。最初は滋賀県の信楽、窯元のおやじさんの面白い説明に引かれて、皆さん気に入った信楽焼の製品を買っていました。私も、大きなタヌキは見るだけにして、カエルを買いました。家の玄関に置いてます。

次は伊賀の「モクモク」、バーベキューと地ビールの食事のあとは、手作りウィンナ教室へ。豚肉をこねて腸詰にする作業に悪戦苦闘、おいしいお土産ができました。楽しい晩秋の1日でした。



ずいそう



近場のお出かけスポット

一宮市と稲沢市

今年は妻が退職して自由な時間ができたので、私のちょっと空いた日程に合わせて、近くへ出かけることが可能になった。先日は、一宮市の三岸節子



記念美術館（写真）と稲沢市の荻須高德記念美術館、その周辺の街を見てきた。どちらも郷土出身の芸術家の作品を展示するための市立の施設で、往年のアトリエまで再現してある。

一宮とか稲沢は、通ったことはあってもゆっくり訪れたことはなかったが、いい見所をいくつか発見した。稲沢がイチョウの名所だということも初めて知った。

名古屋市

名古屋駅から歩いてすぐの所にある「ノリタケの森」に、初めて行ったが名古屋の都心にこんな落ち着いた場所があるのかと驚いた。古い赤レンガの工場跡（写真）、高級食器や陶磁器の制作現場、ギャラリーなど、半日かけてゆっくり見て回った。また、名古屋城も20年以上の久しぶりで、前に来たことはすっかり忘れていて、新鮮だった。こんどはテレビ塔に登ってみよう。30年も前に子どもと外階段を歩いて下りたことだけは覚えている。



奈良、柳生、葛城山など

奈良も何とか日帰りで楽しめる所だ。法隆寺などの社寺、明日香から山辺の道など、歴史と自然の宝庫である。柳生の里から奈良公園までの柳生街道ウォーキングも良い。5月の連休明け、葛城山の頂上一面がツツジで赤く覆われる風景（写真）は素晴らしかった。ロープウェーに乗らず歩いて登ったら、鈴鹿の山よりしんどくて大汗をかいたことも、いい思い出だ。



鈴鹿にもいい所がいっぱいあるが、ちょっと離れた所に出かけるのが、気分転換になっていい。永六輔も“知らない街を歩いてみたい”と言っている。

それでは皆さん、2014年もよろしく。お互いがんばりましょう。